

東地申54号 2021年度「東京総合車両センター業務量等について」に関する申し入れ  
東地申32号 東京総合車両センターにおけるフレックスタイム制導入に関する申し入れ

## 団体交渉を開催！！



3月31日、東地申54号 2021年度「東京総合車両センター業務量等について」に関する申し入れ、および東地申32号 東京総合車両センターにおけるフレックスタイム制導入に関する申し入れについて団体交渉を行いました。そして職場の声を支社に届けてきました。

東地申54号の交渉では7項目にわたって議論しました。議論では業務量に対する適正な要員配置や、コストダウンは安全を担保していくことなどを確認してきました。また特休日の分散取得は現時点で2021年度に実施する計画はない事を確認してきました。更にS&E構創について、あまり

にも現場では見えてこないことを指摘し、委員会だけでなく全体で参画していく、現場の意見を反映させていくことも確認しました。

東地申32号の交渉では6項目について議論しました。そのなかではフレックスタイム制導入の根拠を明確にするとともに、時間外労働の削減を目指すことを確認してきました。しかし施工科や関係する車両センターの業務に影響がないように求めたことについては、迷惑かけないように配慮しているという答えにとどまり、具体的な中身は明らかにされませんでした。

今回の交渉では職場の現実を具体的に伝え議論し、何点かについて確認してきました。しかし一方で認識が一致しなかった点もあり、今後の課題となりました。支部は今後も職場の現実を把握し発信していきます。そしてより良い制度と施策の実現を目指します。

**制度も施策も担うのは現場の社員だ！**

**より良い制度と施策をねりあげよう！**

